

【様式22】

提 案 の 概 要

施設名：農業文化園・戸田川緑地

団体名： チームYMO

構成団体：公益財団法人名古屋市みどりの協会
株式会社山田組
株式会社オオバ

(1) 管理運営全般について

①施設の管理運営に対する方針等

【公園の特性と役割】

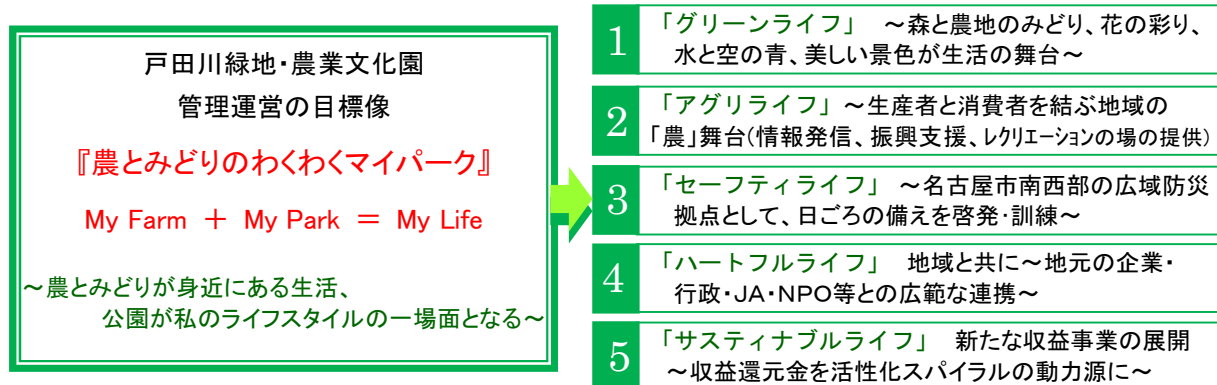
○農業文化園（農業公園）

基本テーマ：「水稻と花」・・・農とふれあいながら農を学ぶ（市民への農に関する普及啓発）
公園に

○戸田川緑地（都市公園）

基本テーマ：「健康とスポーツの里」・・・「西の森」や「花の丘」など四季を通して豊かな
自然の中での健康づくりとパートナーシップによる森の創出

上記をふまえ、以下のような管理運営における目標を設定し、
その実現に向けて5つの基本的な取り組みを行います。

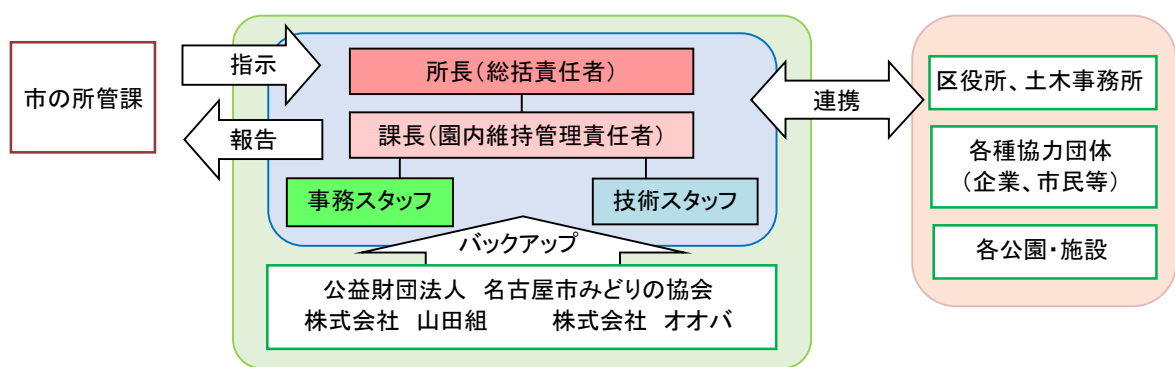


②管理運営体制

【組織・体制】

公園の管理運営は、市民に公平・平等な利用を確保し、現地での問題解決や迅速な対応力が重要であるとの認識のもと、現地に責任者・様々な有資格者を配置し、企画立案から事業実施・改善活動まで、責任をもって管理を行います。

コンソーシアム各構成企業とは、人財育成・総務・経理といった間接業務をはじめ協力体制を確立し、それぞれのネットワークやノウハウを活かした体制をとり、また、多様な団体と連携しながら管理運営を進めます。



- 情報共有
 - ・ 全職員が行う全体会議では、維持管理、事務管理、苦情・要望、アンケートの結果やイベントの気づきの点のすべてにおいて情報共有を行います。
- 安全管理・対策
 - ・ 園内巡回 [日常巡回、遊具施設点検、コンソーシアム構成企業安全管理担当による安全パトロール実施、他公園スタッフによるモニタリング]
 - ・ 緊急時等には「危機管理マニュアル」に基づき、関係機関と連携を取り、園内放送・巡回等を行うなど来園者の安全を確保します。
- 研修・資格取得支援制度
 - ・ 維持管理研修 [造園技術、樹木保護育成、遊具点検] など
- 運営管理研修
 - ・ 公園管理運営、個人情報保護 普通救命講習、接遇、環境教育プログラム など
- 資格取得支援制度対象
 - ・ 公園管理運営士、樹木医、造園施工管理技士、サービス接遇検定 など
- 施設修繕・保守点検計画

仕様書に定められた、点検基準及び各種関係法令を遵守します。

 - ・ 保守点検[日常巡回、専門業者による点検 (1回/年)]
 - ・ 施設整備台帳による計画的な修繕の実施 (予防修繕含む)

(2) 実施業務の計画について

① 指定管理業務

農業公園と都市公園の特性と役割を存分に活かし、既存施設の有効活用、関係機関・団体との連携、地域の活性化、ボランティアとの連携を行い、来園者のライフスタイルに寄り添う公園を目指します。

- 植物管理
 - ・ 近隣住民のふるさとの風景となるよう、田んぼや森などを自然地の景観と風土に馴染ませ、来園者のライフスタイルに溶け込む郷土の緑地景観となるよう、健全な育成管理を行います。
 - ・ 人々が季節を感じることができるよう魅力ある四季の花壇や植栽を、とだがわサポーターズ等ボランティアや広く市民に呼びかけ、多くの方にかかわっていただくことで、愛着ある名所づくりを目指します。
 - ・ サトザクラの名所化、アジサイ及びクリスマスローズの植栽株数市内No.1を目指します。
 - ・ 西の森づくり事業では「なごや西の森維持管理計画」に基づき、なごや西の森づくり協議会の一員として活動を行うとともに、ボランティア活動には積極的に協力します。

- ・ 種や挿し木で比較的容易に殖やせる品目を多用し、経済性を追及しながら、効果的に植物による園内の演出・景観性の向上を進めます。
- ・ 剪定枝のチップ化はもちろん、落ち葉を堆肥化したり、とだがわ生態園の水辺のヨシを森の林床に敷いて雑草抑制に活用したりするなど、園内の資源循環を進めます。
- 施設管理
 - ・ コンソーシアム構成企業の知見を活かし、計画的な予防保全型施設管理を行います。
 - ・ 公園整備当初から設置されている案内サイン、フラワーセンター等の屋上防水処理、照明のLED化などを進めています。
- 農の振興・支援
 - ・ 初心者向けの野菜栽培講習会の開催のほか、就農希望者を対象とした中・上級者向け講座の開催を行い、就農後の農産物販売先などの支援も行います。
 - ・ 市内に3つある農業公園のテーマに沿った、収穫や農業体験、講座などの連携企画を実施します。
- 環境・農・緑の学習の推進・支援
 - ・ 森づくり活動を行う「戸田川みどりの夢くらぶ」を講師とし、森の恵みを用いた「森の体験観察講座」の開催や、とだがわ生態園での在来種保護活動などを通じて、環境教育にも取り組みます。
 - ・ 既存の施設を活かした利用プログラムとして、ガイド付きスタディーツアーや体験教室のプログラム化、小学校の学習指導要領に沿ったワークシートの作成、企画展示に因んだ内容のミニイベントを開催します。
- 魅力増進・利用促進
 - ・ 広々とした芝生広場や700本あるサトザクラはじめとした園内植栽、農業科学館の懐かしい農具や6,000点を超える昆虫標本を利用して企画展を行うほか、特徴ある植物がみられるフラワーセンターなどを活用し、植物や気候・環境に関するクイズやワークシートを作成し利用するなど、既存施設の魅力を増進します。
 - ・ 農や園芸に関する多種多様な講習会を実施すると共に、これまでの講習会も絶えず見直しを行いブラッシュアップすることで、より満足度の高い講習会を開催します。
 - ・ 企業・団体等による展示会の受け入れ態勢を強化し、積極的に開催していきます。
 - ・ 新聞社や地元情報誌・フリーペーパー・マスコミ等に対し、開花情報、イベント情報など積極的に情報提供を行い、また、あおなみ線や近鉄戸田駅、近隣の図書館等にチラシやパンフレットを送付します。
 - ・ ホームページはもとよりブログやフェイスブック等、SNSを活用し情報提供を行います。
 - ・ 近隣の公的機関、企業、防災・環境・農の専門家を招いて行う「戸田川緑地賢人会議」の他、市内の大学との連携を密に行い、知識やネットワークを積極的に取り入れ、公園のさらなる魅力増進、利用促進に努めます。

②自主事業

「自然」「農」「スポーツ」という特色を生かし、地域やボランティア、企業・団体や学校等と連携した自主事業に取り組み、「農とみどりのわくわくマイパーク」を目指します。

- 季節のまつり・アニバーサリー行事の開催
 - ・ 季節のまつり（とだがわまつり、秋まつり、さくらまつり）や農業文化園開園30周年・戸田川緑地開園25周年、なごや西の森づくり植樹20周年と、アニバーサリーイヤーにイベントなどを行います。
- オリジナル商品の提供
 - ・ 地元食材を材料とした「お米アイス」「完熟梅シロップかき氷」「いちご大福」を販売します。

➤ その他の提案

- ・ 地元の農家等が主になって行う「もぐぱくマーケット」を定期的で開催します。
- ・ とだがわ陽だまり館の無料スペースにオーガニック野菜レストランをオープンし、食育教室も同時に開講します。また、来園者の多様なニーズに応えられるよう、レストハウスもリニューアルします。
- ・ 無料開放デーを設けたり、新たな乗り物の導入を検討するなど、サービスセンターの活性化を図ります。

③管理運営にかかる費用等

〈各年度ごとの指定管理料提示額〉 (単位:千円)

平成 30 年度	192,000
平成 31 年度	192,000
平成 32 年度	192,000
平成 33 年度	192,000
合計	768,000

〈期間を通じた収支計画 (指定管理期間を通じた項目別内訳)〉

【収入】 (単位:千円)

費 目	金 額
指定管理料提示額 (A)	768,000
収益事業還元金 (B)	4,000
収入合計	772,000

【支出】 (単位:千円)

費 目	内 容	金額
人件費	人件費及び福利厚生費	328,000
光熱水費	電気、ガス、水道料金	66,000
駐車場管理費	イベント時 2回/年	28,400
管理費	消耗品費、清掃費、建物管理費、植物管理費、設備保守点検費、修繕工事費、広告宣伝費、一般管理費、租税公課等	345,600
収益事業還元事業費	老朽化した施設のリニューアル等	4,000
支出合計		772,000

【経費削減の主な取り組み】

- 事務管理による経費の削減
 - ・ 発注方法の見直し、省エネルギー対策、直営業務による効率化
- 植物管理による経費の節減
 - ・ 植物管理の工夫、発生材の活用、